

# 令和3（2021）年度教員免許状更新講習

## 時間割・概要

### 【選択領域1 国語科の教育内容の充実に向けて】

7月17日（土曜日）

《時間割》（全てオンラインで実施をします）

時 間	科 目 等
8：50～ 9：00	オリエンテーション
9：00～10：30	擬音語・擬態語から言語学を考える (講師 藤本 真理子)
10：40～12：10	ネット時代の言語生活と国語 (講師 灰谷 謙二)
13：10～14：40	国宝『源氏物語絵巻』から読む『源氏物語』 (講師 藤川 功和)
14：50～16：20	漢詩の決まりについて (講師 鷹橋 明久)
16：30～17：20	履修認定試験（筆記試験）

\*新型コロナウイルス感染症の影響で、講習の実施形態を対面式からオンラインに変更いたします。詳細は次のリンクよりご確認ください。

【選択領域1 国語科の教育内容の充実に向けて】講習実施形態変更について

## 《概 要》

擬音語・擬態語から言語学を考える	(講師 藤本 真理子)
<p>大学で日本語学を教える際、導入として擬音語・擬態語を扱うことがあります。擬音語・擬態語のもつ魅力は、第一に学生・生徒にとって身近なテーマであるという点です。加えて、形式面では、法則性の発見、また意味面では、派生関係の考察といった、言語学ひいては学問的な思考のトレーニングが行えるという点があります。本講義では、古典文学に登場する擬音語・擬態語も交えながら、ことばへの取り組みの実践を紹介します。</p>	
ネット時代の言語生活と国語	(講師 灰谷 謙二)
<p>ネットワークと情報機器の発達は、私たちの国語生活を大きく変化させています。メールのマナーなどコミュニケーションリテラシーとしての問題は言語生活に直結するもので扱われやすいものでした。現在 SNS でもちいられている言語、そこに展開されるコミュニケーションの様相は非常に変化が早く複雑です。国語科がこれから扱わざるを得なくなる、音声言語・文字言語につづく第三の言語とどう向き合うべきかを考えるヒントになればと思います。</p>	
国宝『源氏物語絵巻』から読む『源氏物語』	(講師 藤川 功和)
<p>12世紀に成立したとされる国宝『源氏物語絵巻』は、現存最古のビジュアル版『源氏物語』として夙に知られています。高校までの学習教材では、主に図版資料として扱われる感のあるこの絵巻作品を通して、大学における古典文学の学習の一端をご紹介します。</p>	
漢詩の決まりについて	(講師 鷹橋 明久)
<p>中国の古典詩、日本でいう「漢詩」にはさまざま形式があるが、本講では古体詩と近体詩の違いについて、また、近体詩にはどのような決まりが存在するのかなどについて概説する。</p>	

\*教材は当日授業で配付します。